



くりはら

# 市議会だより

第36号

平成25年8月1日

6月23日(日)、一迫の山王史跡公園あやめ園の広場で、第28回みちのく鹿踊大会が開催されました。

大会のフィナーレを飾ったのは、地元一迫の「早川流 清水目八ツ鹿踊保存会」の鹿踊り。注目のめじかは雌鹿にふんした尾崎愛莉さん(一迫小3年)の演技、今回が初舞台のあいくるしくも元気な姿でした。

大型補正予算 46億円を追加 2

子どもの医療費 中学生まで無料 4

議会報告会運営調査特別委員会を設置 5

一般質問

改選後最初の質問 13人登壇 7

「私もひとこと」

白鳥文雄さん(一迫)・小野寺とみ子さん(瀬峰)

12

# 一般会計 予算を可決 46億円を追加



着々と建設が進む八日町住宅（栗駒地区）

6月定例議会は、6月11日から25日までの15日間の会期で開かれ、一般会計を始めとする各種会計の補正予算案や条例案など30件を審議し、全議案を原案のとおりに可決しました。また、人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ、同意しました。

## 政策的経費を計上

今年度の一般会計当初予算は、4月に行われた市長と市議会議員の選挙のため、義務的経費などの骨格的予算編成となっており、今回の補正予算において、初めて政策的経費が計上され、バランスの取れた予算構成

となりました。

今回の補正予算は46億1807万円の大型補正となり、その結果、一般会計の予算総額は419億2907万円になりました。

## 市民注視の主要事業

一般会計の主な補正予算につきましては、次ページ

に示したとおりですが、それぞれ分野での特徴的な事業を見てみましょう。

「I」の公営住宅建設事業では、栗駒の八日町と瀬峰の定住促進下藤沢住宅の建設などが計画され、住環境リフォーム助成事業は、バリアフリー化や省エネ化と一体で実施する場合に助成が受けられます。

「II」の幼保一元化施設整備事業は、栗駒と志波姫の幼保一体化施設の整備が進められます。

「III」の子ども医療費助成事業では、所得制限を撤廃し、すべての小・中学生の入院と通院の医療費の自己負担額が助成されることになりました。

「IV」の観光施設・登山道整備事業では、ハイルザーム栗駒や栗駒山登山道の整備、いこいの村栗駒の解体などが予定され、栗駒山麓ジオパーク構想推進事業には、7月に設置された推進

## 放射能対策は万全に

協議会の活動資金としての補助金が計上されました。「V」の自治会活動事例発表事業は、事例発表会を開催し、優秀な取組みは賞金を添え表彰されます。

「VI」では、放射性物質吸収抑制対策事業で、水稲や大豆などの吸収抑制のための資材配付などを進め、



ジオパークの認定に向け協議会を設立（議長の祝辞）

牧草地除染対策事業では、自力除染が困難な民有採草地の除染が計画されます。また、観光情報総合発信事業や地域活性化PR事業では、コマージュ放送や旅雑誌への観光資源やイベントなどを広告掲載し、情報発信を図ることや、独自キャラクターの作製や大型看板も設置されます。各事業の堅実で早急なスタートが期待されます。

## 一般会計補正予算の主な内容

### I. 恵まれた自然に包まれた、質の高い暮らしのまち

- 道路交通の安全確保 5億5200万円
- 公営住宅建設事業 3億7431万円
- 都市計画街路事業 2億8333万円
- 住環境リフォーム助成事業 5000万円
- 「美しいくりはら」景観計画策定調査事業 820万円

### II. 豊かな感性と生きる力を育むまち

- 文化施設改修事業 1億669万円
- 幼稚園整備事業 8474万円
- 幼保一元化施設整備事業 8460万円
- 陸上競技場施設整備事業 1147万円
- 教育研究センター設置事業 134万円

### III. 健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち

- 子ども医療費助成事業 2996万円
- 保育所改修事業 631万円

### IV. 地域の特性を活かした、産業と交流が盛んなまち

- 観光施設・登山道整備事業 4億2073万円
- 農業用施設補修事業 2億8718万円
- 栗駒山麓ジオパーク構想推進事業 1375万円
- 雇用拡大奨励金（追加分） 800万円
- 6次産業化支援事業 1027万円
- 定住促進事業 1007万円

### V. 市民がまちづくりを楽しめるまち

- 地域集会施設新築・改修事業補助金 3682万円
- 住民自治活動助成事業（追加分） 3000万円
- 自治会活動事例発表事業 300万円

### VI. 震災からの復興を成し遂げ、発展していくまち

- 放射性物質吸収抑制対策事業 2億14万円
- 牧草地除染対策事業 1億円
- 観光情報総合発信事業 7000万円
- 栗原市地域活性化PR事業 409万円

# 大型補正



楽しい給食（鶯沢地区幼保一元化施設）



解体される「いこいの村栗駒」



反転耕での牧草地の除染作業



子どもは栗原の宝

# 10月から 子どもの医療費

## 中学生まで窓口で無料 所得制限も撤廃

### 乳幼児医療費助成条例を改正

子どもの適正な医療機会の確保と、子育て家庭における経済的負担軽減を図るため、所得制限の撤廃と現物給付による「窓口で無料」とすることなど、これまでの施策を拡充するものとなります。

### 災害公営住宅14戸 市営住宅に追加 市営住宅条例を改正

若柳地区に建設していた災害公営住宅10戸を上堤住宅、栗駒地区4戸を神明住宅として新たに追加されます。

また、建て替えを行った栗駒地区上町裏住宅を八日町住宅（56戸）、瀬峰地区下山住宅を下田住宅（5戸）として、新たに市営住宅として追加されます。



建設中の災害公営住宅（若柳地区）

可決した  
主な条例

栗原市長等の期末手当の特例に関する条例

国からの地方公務員の給与削減に関する要請に対する市の取り組みとして、平成25年12月支給の期末手当について、市長30%、副市長20%、教育長および病院事業管理者10%が減額されます。

栗原市子ども・子育て会議条例

子ども・子育て支援事業計画の策定、施策について調査審議などをする機関として「栗原市子ども・子育て会議」を設置することを定める条例です。

栗原市新型インフルエンザ等対策本部条例

新型インフルエンザの発生時に、その脅威から国民の生命と健康を守り国民の生活や経済に及ぼす影響が最小限となるようにするため、新型インフルエンザ等緊急事態が宣言された際、実効的な体制を確保するための対策本部を設置することを定める条例です。

意見書

6月定例議会には、2件の意見書が提出されました。いずれも原案のとおり可決し、関係行政庁などに送付しました。内容は次のとおりです。

子どもの入院及び通院に係る医療費助成制度の拡充を求める意見書

(文教民生常任委員会提出)

平成24年12月に、通院にかかる医療費助成制度の対象年齢を、小学校就学前まで拡充するよう求める意見書を宮城県に提出していましたが、宮城県の「乳幼児医療費助成制度」は、全国的に見るといまだに低い水準にあります。

このため、栗原市における子どもの入院および通院に係る医療費助成制度の対象年齢と同様の基準(中学校卒業)までの拡充を求めるものです。

日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書

(議員提出)

核兵器のない世界への行動が開始され、日本政府が多くの国々と協力し、核兵器全面禁止条約の必要性和、その実現のための行動を求めるものです。

人事

○人権擁護委員

千葉 章子さん(若柳) 再任

陳情

件名	陳情者名	処理方法
木材利用推進に関する要望書	宮城北部流域森林・林業活性化センター栗原支部 支部長 佐藤 則明	紹介
「地方公務員給与」削減に反対する要請書	日本労働組合総連合会宮城県連合会(連合宮城) 会長 山崎 透 連合宮城仙北地域協議会 議長 藤村 孝喜	紹介
日本政府に対して、「核兵器全面禁止の決断と行動を求める」意見書提出のお願い	2013年原水爆禁止国民平和大行進 宮城県実行委員会 代表委員 青木 正芳ほか14名	紹介 (意見書を可決)



昨年の報告会の様子(築館地区)

今年は10月下旬に開催予定

栗原市議会では、市民に開かれた議会を目指して、議会の状況を公開し、市民の意見を広く取り入れるため、議会が地域に向き、直接議会活動の状況を説明するとともに、自由活発な意見交換を行い、市民の声を議会そして市政に反映させるべく、議会報告会を開催します。

市民の声を市政に反映

議会報告会運営調査特別委員会

そこで、議会報告会の円滑な企画運営と議会報告会に基づく政策課題の設定および政策立案、提言に向けた調査研究を行うため、議会報告会運営調査特別委員会を設置しました。

7人で構成  
特別委員会

特別委員会は、副議長および各常任委員会から2人ずつの計7人で構成しています。(任期は平成27年4月30日まで)

正副委員長および委員については、次のとおりです。

- 委員長 五十嵐 勇
- 副委員長 佐々木幸一
- 委員 沼倉 猛
- 委員 佐藤 久義
- 委員 鹿野 芳幸
- 委員 佐藤 悟
- 委員 佐藤 文男

若者定住促進 住宅支援から

総務常任委員会

若い世代の転入促進を目的とした「新婚生活応援家賃助成事業」や栗原の魅力を全国に発信する「くりはらドリームアンバサダー」の事業費などが盛り込まれた一般会計補正予算などが付託されました。

審査の結果、原案のとおり可決すべきと決定しました。

**Q** 「新婚生活応援家賃助成金」400万円が計上されている。

**A** ①家賃助成金の交付対象者と結婚の期日はいつからか。②家賃助成金の金額と期間はどうか。

**Q** ①助成金を交付する対象者は、平成25年4月1日以降に結婚した40歳以下の新婚夫婦にしたい。

**A** ②家賃の助成は、住宅手当を引いた金額が4万円を超えた場合、月額1万円を最長で2年間交付する。

**Q** 市内のアパートの家賃は6万円くらい

**A** である。4月1日以降に結婚し、すでにアパートなどに入居している新婚家庭も対象になるのか。

**A** アパートなどの賃貸契約は、平成25年4月1日から平成28年3月

31日までの間に契約した方を対象にしたい。

**Q** 「若者定住促進助成金」200万円が計上されている。

**A** ①助成金の交付内容は、②何件を予定しているのか。

**Q** ①市外から転入し、市内に住宅を新築または購入した40歳以下の方に、新築または購入にかか

**A** る毎年末の借入金残高の5%以内の額を最長5年間交付する。②上限額を20万円とし、10件を予定している。

ドリームアンバサダー任命 栗原の魅力を発信

**Q** ドリームアンバサダー事業の活動内容と人数は。

**A** 栗原の魅力を全国に発信するため、ゆかりのある方20人を予定。

6次産業化の推進に1027万円を計上

産業建設常任委員会



栗駒山麓ジオパーク推進協議会設立記念講演会

6次産業化の推進に向けた商品開発や施設整備への支援にかかると事業費などを盛り込んだ一般会計補正予算、単独浄化槽から公共下水道などへの切り替えに対する助成などを盛り込んだ特別会計補正予算など、計16議案が付託されました。

審査の結果、原案のとおり可決すべきと決定しました。

待ったなし 弱者支援体制の確立

文教民生常任委員会

子ども・子育て支援法に基づき、子ども・子育て支援に関する施策について調査・審議などを行う「栗原市子ども・子育て会議」を設置する条例など5つの条例議案、予防接種費用助成金など本格予算となった一般会計補正予算、介護保険特別会計補正予算が付託されました。

審査の結果、原案のとおり可決すべきと決定しました。

市民農園 なぜ解体

**Q** 利用があると聞いているが、なぜ解体するのか。

**A** 平成18年までは、さざんか、ひまわりの作業所を、手をつなぐ親の会で管理運営していたが、平成19年の小規模作業所の統廃合以降は利用がない状況である。また、今後の利用も見込めないため農園内のハウスを解体する。

子ども・子育て会議の役割は

**Q** 子ども・子育て支援法に基づく方針と援法に基づく方針とは。

**A** 保護者のニーズを把握し、待機児童を減らすための手法、認定こ

ども園の在り方などの検討を想定している。8月に国から示される骨子を基にスケジュール、アンケート内容を検討していく。

求められる介護施設の整備の現状は

**Q** 介護施設緊急整備事業費補助金の対象事業者と今後の計画は。

**A** 今年度は、小規模特別養護老人ホームは社会福祉法人豊和会、グループホームは有限会社さくら、小規模多機能型居宅介護施設は株式会社リソフである。来年度も1施設ずつ、計3施設を整備する予定でいる。整備地域は、生活圏域ごとの高齢者人口、認定者数や施設定員数を考慮し決定する。

風疹の予防接種費用の助成は



みうら よしひろ  
三浦 善浩 議員

**市長** ①平成25年4月から6月9日までの県内の風疹患者数は64人、うち市内は2人で、現在のところ家族などへの広がりはない。②本

**議員** 全国的な広がりを見せている風疹について、①県内および市内の発生状況はどうか。②風疹の予防接種費用について、妊娠を予定、または希望している人やその配偶者などを対象に全額助成しているかどうか。

**市長** 数件あり、市外からは「農地付きの空き家を紹介してもらえ

**議員** 市内外から問い合わせはあるのか。また、その内容は、市では、妊娠を希望している19歳から49歳までの女性、妊婦の配偶者および同居家族を対象に、4月にさかのぼり7月から全額助成することにした。

市の空き家対策は



風疹の予防接種

**市長** 空き家の実態調査や利活用による対策を進め、行政代執行など、関係法令との調査研究を行っていく。

**議員** 空き家バンクで情報提供をしてはどうか。  
**市長** 7月から、制度として「住まいる栗原ホームサーチ事業」を実施していく。  
**議員** 空き家の所有者に対して、適正管理の条例制定は。

一 般 質 問

紙面の都合により、答弁者の名称について一部を省略し、掲載しています。  
病院事業管理者 ↓ 病院管理者  
選挙管理委員会委員長 ↓ 選管委員長



7月に新設された「定住促進室」

**Q** 一般会計補正予算(第1号)  
**Q** 牧草地放射能除染作業委託料の財源は、東日本大震災農業生産対策交付金を充てるのか。  
**A** そのとおりである。県の方針によれば、昨年度、県農業公社へ委託を希望した人が対象となる。  
**Q** 今後、自力除染で予算を増額していくのか。  
**A** 自力除染できない人については、県に相談しながら進めていく。栗駒山麓ジオパーク推進協議会はどの

ような事業を行うのか。  
**A** 日本ジオパークの認定に向け、ガイドの養成やジオツーリズム実施支援など、主にソフト面で必要な事業を行っていく。  
**Q** 台湾との相互交流の目的は何か。  
**A** 台湾は、県が進める「インバウンド(訪日外国人旅行客誘致政策)」の対象地域であり、南投市は、地震の被災地を観光資源として活用しており、震災からの復興を目的とした本市の参考となる先進地であることから交流を始めたい。



介護施設として活用される花山中学校跡地



阿部 貞光 議員

汚染牧草  
市で保管せよ

**議員** 牧草地除染後の放射性物質の測定結果と損害賠償の状況は。  
**市長** 約3000検体のうち537検体の検査が終了した。肉用牛農家では、526検体すべてにおいて暫定許容値を下回り、利用可能となっている。酪農農家では、11検体のうち、50検を超え利用できないのは1検体となっている。除染にかかる費用については、6月10日現在、栗つこ農業協同組合

では請求金額の約50%、酪農組合では約30%が支払われている。  
**議員** 畜産農家は、牧草の収穫期に入り保管場所の確保に窮している。汚染牧草を市で一時保管すべきと考えるがどうか。  
**市長** 国、県の考えは、8000トン以下は一般廃棄物であり、保管にかかる費用は用意しない。あくまで焼却するよう求められている。  
**議員** 学校給食実施基準が一部改



放置される汚染牧草

正されたが、対応は。

**議員** 栄養量の見直しや地場産物、郷土料理、行事食をさらに積極的に取り入れ、改善、検討を重ねた献立作成に留意し、対応している。  
**議員** 改正により、主食の米飯・パンなどの提供回数が増え、週5日の米飯給食の実施を望むがどうか。  
**議員** 栄養摂取量などを考慮し、検討していく。



佐藤 範男 議員

急げ！  
観光戦略事業の展開

**議員** 栗駒山の観光拠点は栗駒耕英と花山エリアである。岩手・宮城内陸地震と東日本大震災の影響が色濃く、復旧すら進んでいない。両地区の被災した民間温泉宿泊施設はいまだ営業を再開せず、また耕英では、1軒の養魚場が休業した。実情はいかに。  
**市長** 耕英の被災した2軒のうち、1軒は通常営業、もう1軒は現地での営業再開を検討中。花山は3



休業した耕英の養魚場

件のうち1軒は現地での営業再開、1軒は営業再開に向け準備中、残りの1軒は具体的再建計画に至っていない。養魚場は、福島原発事故による放射能の風評被害で売上げが減少し、営業の継続が困難になり、休業を決定した。  
**議員** 両被災地の経営者は、災害から5年が経過し、疲弊の極みに達している。一刻も早く営業再開が可能となる条件整備が、行政の

最大の課題である。市長の陣頭指揮のもと、今年度の観光関連事業を果敢に執行すべきであり、市長の決意を伺う。  
**市長** 成長戦略の1番目に観光の復活を掲げた。任期中の早い時期に200万人観光を達成すべく、関連戦略事業を強力に推進する。その他の質問  
○低下する投票率に歯止めを  
○市民総スポーツ活動の推進



佐藤 悟 議員

築館地区幼稚園  
再編の変更理由は



築館地区幼稚園建設予定地

**議員** 築館と宮野の2園から1園

とする変更理由と事業内容は。  
**教育長** 2園への再編よりも、3年保育の早期実施の意見が多く寄せられたことから、施設整備を行い、早期に3年保育を進める。3歳児から5歳児まで各3学級の計9学級、定員240人で、預かり保育を実施する。  
**議員** 「4・3・2」制に再編し、義務教育の一貫教育を進める。「仮称」金成小中一貫校」の特色

は何か。  
**教育長** 児童・生徒の個性や能力を伸ばし、9年間一貫したカリキュラムのもと、継続的な指導により理解が深化され、個性の伸長につながる指導の充実で学力の育成、学習意欲の向上、学習習慣の確立や心身の健全な成長が期待できる。  
**議員** 水ぼうそう、おたふくかぜの予防接種の接種率の向上と高齢者肺炎球菌の予防接種の公費助成

を拡充すべきである。  
**市長** インフルエンザ、ロタウイルス、おたふくかぜ、水ぼうそうの任意予防接種は、中学生まで無料で行う。高齢者肺炎球菌は、平成21年度から半額助成を行っている。平成23年度には、被災者支援で70歳以上の方7603人が無料で接種したが、以降は減少している。助成割合などについては調査していく。



いつになる  
瀬峰幼保一元化



佐々木嘉郎 議員

**議員** 2月定例議会で、私の市内幼保一元化についての一般質問に対する市長答弁で、これまでは「瀬峰幼保一元化施設は市有地に建設する」という方針から「民地も含め検討する」と答弁があった。さらには、「瀬峰地域から候補地の提言があってもよいのでは」との答弁もあり、瀬峰地区の地域審議会から建設促進に係る要望書が提出された。建設場所の選定はど



まだ幼保一元化にならない瀬峰幼稚園

うなっているのか。

**教育長** 早期着工、完成に向けての要望書であった。地域審議会の要望を踏まえ、用地の検討をしている。  
**議員** 検討したのなら答えを出さなければならぬ。いつになるのか。  
**教育長** いろいろな条件があるので、場所の決定には時間を要する。現在、協議中であり、瀬峰でもできるだけ早く幼保一元化を推進し

たい。  
**議員** もともと幼保一元化施策は、栗原市次世代育成支援行動計画にあるもので、国の次世代育成推進法に基づいた法定計画である。平成26年度中に計画どおり事業を行うことが、行政の努めではないか。  
**教育長** 今の発言の意味はよく承知している。場所が決定し次第、早急に工事に入る。そのためにも、まずは土地の選定が最重要である。

放射能汚染牧草の  
一時保管を



高橋 勝男 議員

**議員** 畜産農家では牧草の収穫時期を迎えているが、放射能で汚染された平成23年産の牧草があり、保管場所で困っている。市として、一時保管対応をすべきである。  
**市長** 県では、8000tを超えない牧草やほだ木は、市町村で焼却処理を行うとしているが、指定廃棄物と同様に国の責任で処理すべきであり、県にはこれを明確にするよう要望している。

**議員** 平成23年産牧草の中には8000tを超えるものがあり、農家保管されている。汚染稲わらと同様に一時隔離保管すべきである。  
**市長** 県の調査では8000tを超えていたが、市としても独自に検査し、遮水シートでの被覆、分離保管を含め検討する。  
**議員** 宮城県、栗原市、地域代表の3者で覚書を結んで進めてきた汚染稲わらの一時保管（2年間）



行き場のない汚染牧草

から築館地区では1年を迎えるが、どうなっているのか。  
**市長** 6月13日に県から「汚染稲わらの一時保管の延長について」の通知があった。市としては、県と連携し、国の動向、県内自治体の対応状況を見ながら地域の方々から丁寧に説明するなど、慎重に対応する。

TPPと  
今後の農業政策



相馬 勝義 議員

**議員** 6次産業化を推進し、10年後をめどに産業の育成強化を図り、ビジネスモデルの構築を進めては。  
**市長** 市では、国の認定を受けている2業者をもとに、豊富な地域資源を有効に活用し、新たに「(仮称)6次産業推進室」を7月から設置し、推進していく。  
**議員** 効率的な農業経営が行えるよう大規模な経営体に農地の集積を強力に進めるべきと考えるが。



農業経営を行う事業所

**市長** 今年度中に策定する「人・農地プラン」に誘導しながら、農地の集積を進めていくところである。また、国の動向をみながら、ほ場整備地での集積を推進する。  
**議員** 新たに就農しようとする方への初期投資にかかる助成制度を創設しては。  
**市長** 「人・農地プラン」に位置付けられている「青年就農給付金」などの活用を推進する。国から示

されている「経営体育成支援事業」など情報収集をしつかり行い、県との調整、周知に努める。  
**議員** TPP交渉参加を受け、農業の危険分散への再考は。  
**市長** 農林水産省は、4月にTPP参加の試算額を一部見直し、発表した。それを踏まえ、危険分散も必要と考えている。6次産業推進室が中心となり、振興策を積極的に検討する。



沼倉 猛 議員

高清水、瀬峰中学校の統合は必要か

議員 ①高清水、瀬峰中学校を統合して現在の教育環境がどう変わるのか。②教育目標では、集団活動を通じて社会性を育てるとあるが、高清水や瀬峰などの小規模校では育っていないのか。③高清水、瀬峰中学校間の距離は約5キロであり、スクールバスの利用は6キロ以上である。高清水の生徒のほとんどが利用できないのではないのか。④統合には住民の合意が条

件か。また、賛否がある場合は、どの時点で合意というのか  
教育長 ①複数学級ができ、人間関係に広がりを持つ。②現在の高清水、瀬峰中学校では、適正な教育効果が得られている。③激変緩和措置（5年間）をとり対応するが、すべての再編にめどがついた時点で見直しを行う。④再編は住民の合意が前提である。これまでは、理解を示す方が多数の場合、



無くなるかもしれない高清水中学校

地域の方が主体的に決定してきて

いる。

介護用品支給事業の非課税要件を撤廃せよ

議員 在宅介護者への紙おむつなどの介護用品支給事業は、世帯構成全員が非課税であることが条件である。市民の間に不公平感がある非課税要件の撤廃を求める。  
市長 介護保険の趣旨に基づき、現在の支給方法で行う。



佐藤 文男 議員

夜間救急医療の充実を

議員 市立3病院の夜間救急に対応する受け入れ体制は。  
病院管理者 栗原中央病院では、2次救急医療機関として、救急車および他の医療機関からの搬送はすべて受け入れている。  
議員 夜間救急の受付から対応までの手順はどうか。  
病院管理者 患者または、救急隊から連絡が入った段階で、当直の医師が状態を確認し、他の患者の



栗原中央病院の救急入口

診察状況などを考慮しながら受け

入れ可能か判断する。  
議員 市民要望に応えるための、夜間救急医療体制についての対策はどうか。  
病院管理者 地域の中核病院として、他の医療機関と機能分担を行い、3次救急医療機関と連携し夜間医療体制をとっていく。

放射性物質の除染対策は万全か

議員 教育施設や農地の除染対策が一定の節目を迎えた現時点で、次の点はどうか。教育施設などで、除染できなかったところはどうか。  
市長 14施設で除染を完了し線量の低減が図られ、除染できなかったところは無い。  
議員 畦畔、堤防など雑草の測定は市独自で測定すべきだ。  
市長 県が実施しているところだが、試験的な検査を検討する。



三塚 東 議員

観光に役立てよ二連水車の稼働

議員 二迫川の上流、栗駒文字中山地域に住民の要望とともに、農業農村整備事業を宣伝するため、平成4年に「二連水車」が設置された。しかし、この「二連水車」は水量に制限があり、栗駒山の紅葉シーズンには稼働できない状況にある。  
そこで、「二連水車」の稼働が栗駒山麓の観光にも役立つよう、水量の変更を国に働きかけるべき

ではないか。  
市長 「二連水車」は景観とマッチした農業の歴史を伝える貴重な施設となっている。しかし、9月11日から許可された水量では稼働できないので、知恵を出し発想の転換が必要と考える。  
美しい栗原を守る  
景観条例の制定を  
議員 栗原は自然、歴史、文化な

どと人々の生活や経済活動が調和し、多様な生物の息が可能ななる環境である。栗原の美しい景観を守る条例の制定を目指すべきではないか。  
市長 平成25年度から2年間にわたり景観計画策定に向けた調査を実施する。その後、市民の皆さんや事業者の方々と協議を重ね「景観条例」の必要性を慎重に検討していきたい。



住民の要望で完成した二連水車

財政調整基金を  
国保税の引き下げに



菅原 勇喜 議員

**議員** 平成24年度末国保会計財政調整基金残高見込み額は、2月補正時と比較すると、わずか1カ月で2億8000万円も増額し、7億7670万円となっている。増額分だけでも一世帯あたり2万円強となる。国保税引き下げを求めたいかがが。

**市長** 平成25年度予算で、3億5000万円の基金取り崩しを行うことにより、基金残見込み額は4



8時30分から22時まで1人で管理

億2680万円となる。今後も安定的で継続的な保険財政運営を行っていく。

**公民館に職員を配置し  
使用料を無料に**

**議員** 行財政改革を進めてきた結果、合併以来8年間で職員を200人近く削減し、さらには公民館の有料化なども行ってきた。公民館から職員を引き上げ有料化した

結果、非常に利用しづらくなったとの声が寄せられている。職員を配置し、以前のように使用料を無料にすべきと考えるいかがが。

**市長** 業務委託で対応していると市民の利便性が確保できていると認識している。使用料については平成23年度から旧町村ごとにまちまちだったものを統一している。

萩野団地住民と  
話し合いを！



小野 久一 議員

**議員** 金成萩野団地の水道水の異常はいつからか。

**市長** 平成20年岩手・宮城内陸地震の影響で有壁浄水場の揚水量が減少、さらには鉄・マンガンの数値が高くなり、既存ろ過機の浄水能力では、水質基準を満たすことができないと判断した。

**議員** 民間ではない栗原市の分譲購入された住民の不満と怒りは大

きなものがある。団地住民を一堂に会して、これまでと今後の対応について説明会を開くべきである。

**市長** 未分譲地の販売を促進するためにも、団地住民との意見交換会の開催に向けて検討していく。

**議員** 萩野団地入りの案内標識が必要ではないか。

**市長** 標識設置の必要性など、住民の意見を参考に調査、検討する。



太田杜公園から見た萩野団地

投票率向上へ努力を

**議員** 有権者は候補者を知る場を、候補者は政策を訴える場を求めている。多くの施設で個人演説会ができるようにすべきでないか。

**選管委員長** 今後検討していく。

**議員** 期日前、当日とも、障害者にやさしい投票所に。

**選管委員長** 選挙人の多い投票所には、複数台の車いすの配置を検討する。また、各投票所に文鎮を用意する。

中心市街地の  
活性化を図れ



高橋 渉 議員

**議員** 人口減少が進み、高齢化率が上昇することによって、各地区を中心市街地は空洞化が進んでいる。中心部を暮らしの場と活性化の拠点と位置付け、集中的な投資を行い、中心部に人口を取り込み、居住人口を増やすべきでは。

**市長** 商工会や商店街、地域住民が自らアイデアを出し合って、主体的な取り組みに対し積極的に支援したい。



最大の関心事 旧築高跡地

市民活動支援センター  
の管理は

**議員** 市民活動支援センターは、市民にとって便利な施設となっている。公設民営が基本となっているが、早急に指定管理者を選定すべきではないか。また、NPO法人の育成と支援についての考えは。

**市長** 平成26年度の指定管理者への移行を目指している。

NPO法人の組織強化が図られるよう今後も支援と育成に努める。

# 私もひとこと

## むら(地域)は無事か？



白鳥 文雄さん  
(一 迫)

知人がよく聞く問いです。日々の暮らしや地域行事が当たり前に行われていますか。との問いです。私はいつも「はい」と答えます。その理由は、ある民族学者の方の「地域の元気度は、祭りが継がれているか」を見るとよくわかるという視点で、私の住む集落や金田地域を見渡した時、いつもながらの行事や祭りが今も行われているからです。

とりわけ、金田地域8行政区が「コミュニティ推進協議会」に結集して、4年に一度行われる「火伏せまつり」は圧巻です。また、2年前から加わった小学生の演奏による「金田盆唄」の盆踊り大会は、ト田舎の小さいながらも盛大な祭りになり、今年も間もなくやってきます。今年、中高生も是非演奏に参加したいと張り切っているのです。指導に当たる一人としてうれしい限りですし、地域の元気度アップに「一役貢献しよう」と思っています。

## やっぱり瀬峰が好き



小野寺とみ子さん  
(瀬 峰)

栗原の表玄関である瀬峰駅、市になる当初、おのの議員さんが駅周辺を明るく、活気を取り戻そうとしていました。仙台圏との通勤、通学の利便性などうたい文句を掲げたようでしたが、今はどうでしょう、寂しい感じですか。以前の支所は鍋底に入っていくみたいで、とても嫌でした。震災でさら地となり、保健センターや診療所のあるところに新築中です。さて、次の課題として幼稚園、保育所がどこに移転となるのか。大切な子ども達を人通りのある明るい場所へと願います！また、駐在所も町の人が分らないうちに別の場所に移り、今はさら地になっています。

人口がどんどん減って、私もパパ、ママ、企業も生活していくのが大変なことです。市の行政のことは、分からない知らないで済ませようとしてきた私も、難しいことはさておいて、一市民として興味を持ち始めました。議員さんは、人づくり、まちづくりと言っていますが、まずは議員自身から？そうは言いつつも、私はこのまちが好きです。

あじがき

5月臨時会と長丁場の6月定例会が閉会し、間髪をいれずに「市議会だより」の編集と、新人議員としてのあわただしい中に3カ月が経過いたしました。

今回の「市議会だより」第36号は、広報編集調査特別委員会委員9人の初めての合作号であり、市民の皆さんに、市議会の本会議や委員会での審議内容を、より臨場感を持つてお伝えすべく努力しましたが、いかがでしたでしょうか。

地球温暖化と相關するの、今年も酷暑の夏が予測されています。自助の精神で、ご自愛專一に……。

佐藤 範男

### 広報編集調査特別委員会

- 委員長 佐々木 脩
- 副委員長 佐藤 範男
- 委員 菅原 勇喜
- 委員 高橋 渉
- 委員 菅原 久男
- 委員 藤原 昭男
- 委員 佐藤 千悟
- 委員 佐藤 悟
- 委員 高橋 勝男
- 委員 小野 久一
- 議長 長石川 正運